

電力先物マンスリーレポート

2026年6月号（概要版）

26年5月の電力市場概況

【気象動向】

5月の平均気温は、北日本から西日本にかけて全国的に高くなり、とくに東日本と西日本でかなり高くなった。暖かい空気に覆われやすかったことが影響した。北日本から西日本の15地点の観測値による月平均気温の基準値からの値差は+1.37度となった。2015年の+1.39度に次いで、統計を開始した1898年以降の5月として2位の高温となった。また、月間の日照時間は、東日本と西日本の日本海側でかなり多くなり、北日本の日本海側、北日本から西日本の太平洋側でも多かった。



【日本卸電力取引所(JEPX)の電力スポット動向】

5月の日本卸電力取引所(JEPX)の電力スポットは、北陸と関西を除く7エリアが前月から下落。ただ、月間平均は東京で18円台、中部で16円台と他エリアに比べ大幅に高くなった。

【9エリア別月間平均】

	北海道	前月比	前年比	東北	前月比	前年比	東京	前月比	前年比
5月受渡	13.65	-0.31	+5.15	14.38	-0.19	+4.58	18.01	-2.05	+6.82
24時間									
月間平均	中部	前月比	前年比	北陸	前月比	前年比	関西	前月比	前年比
	16.23	-1.62	+7.74	13.94	+0.71	+6.08	13.94	+0.82	+6.08
	中国	前月比	前年比	四国	前月比	前年比	九州	前月比	前年比
	11.76	-0.50	+3.92	7.57	-0.16	+0.01	9.48	-1.13	+2.14

※単位: 円/kWh

【電力先物市場動向】

5月の東京商品取引所(TOCOM)の電力先物市場では、大型連休入りや燃料動向に不透明感が強まり、約定量は前月から急減した。

【燃料価格動向】

5月の燃料価格は、引き続き米国とイランの戦争終結に向けた動向が材料視されたが、日によって強弱材料が入り混じり、方向感を欠いた。

5月28日に公表された26年4月の貿易統計速報(9桁速報)は、原油が前月比33,563円高のklあたり101,389円となり、初めて10万円台に達した。LNGが同448円高のトンあたり88,883円、石炭が同1,442円高のトンあたり20,877円となった。

26年5月のTOCOM電力先物市場の取引データ

・26年5月の約定結果【月間物】【年度物】

東エリア・ベースロード

限月	区分	高値	安値	合計枚数
202606	立会外	22.75	21.30	38
202607	立会外	23.50	22.75	58
202608	立会外	23.35	22.75	58
202609	立会外	22.75	21.30	18
202701	立会外	19.35	19.35	30
202703	立会内	15.80	15.80	10
	立会外	16.06	16.06	40
202704	立会外	15.66	15.66	40
全限月合計枚数				292

東エリア・日中ロード

限月	区分	高値	安値	合計枚数
202606	立会外	27.70	27.50	70
202607	立会外	33.05	30.30	60
202608	立会外	31.90	30.30	10
202609	立会外	31.90	30.30	10
全限月合計枚数				150

東エリア・ベースロード

対象期間	区分	高値	安値	合計枚数
2027年	立会外	15.30	15.30	5
全年度合計枚数				5

西エリア・ベースロード

限月	区分	高値	安値	合計枚数
202606	立会外	17.50	17.50	40
202607	立会外	20.25	19.65	100
全限月合計枚数				140

中部エリア・ベースロード

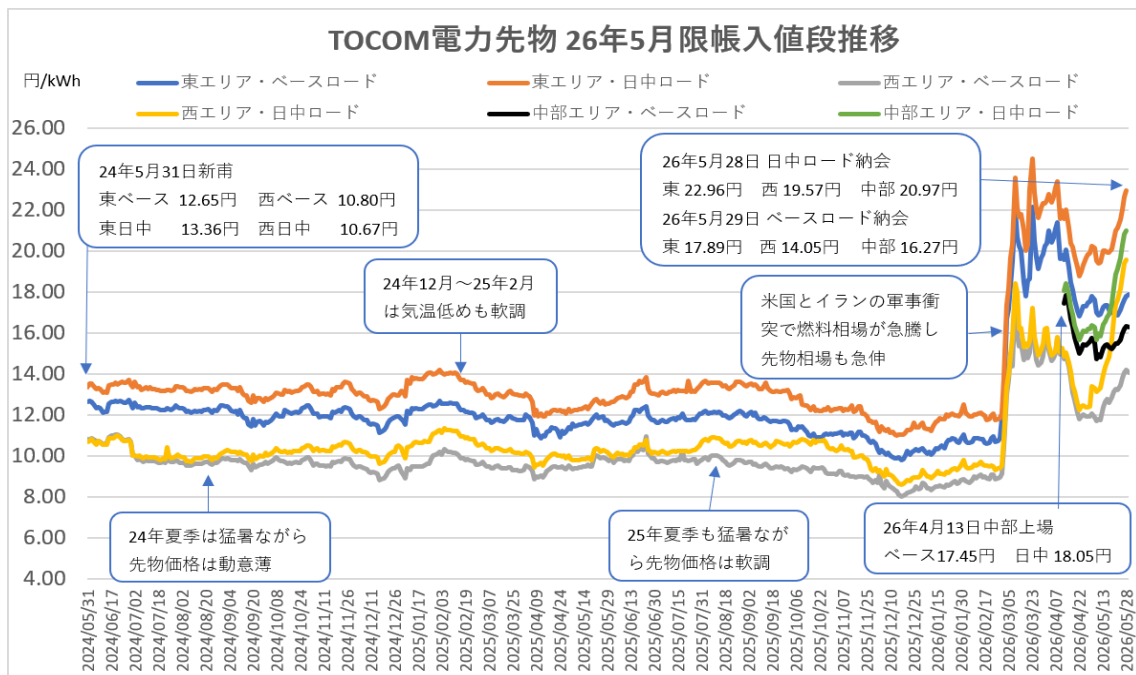
限月	区分	高値	安値	合計枚数
202606	立会外	22.25	22.25	1
202607	立会外	22.25	22.25	1
202608	立会外	22.25	22.25	1
202609	立会外	22.25	22.25	1
全限月合計枚数				4

西エリア・日中ロード

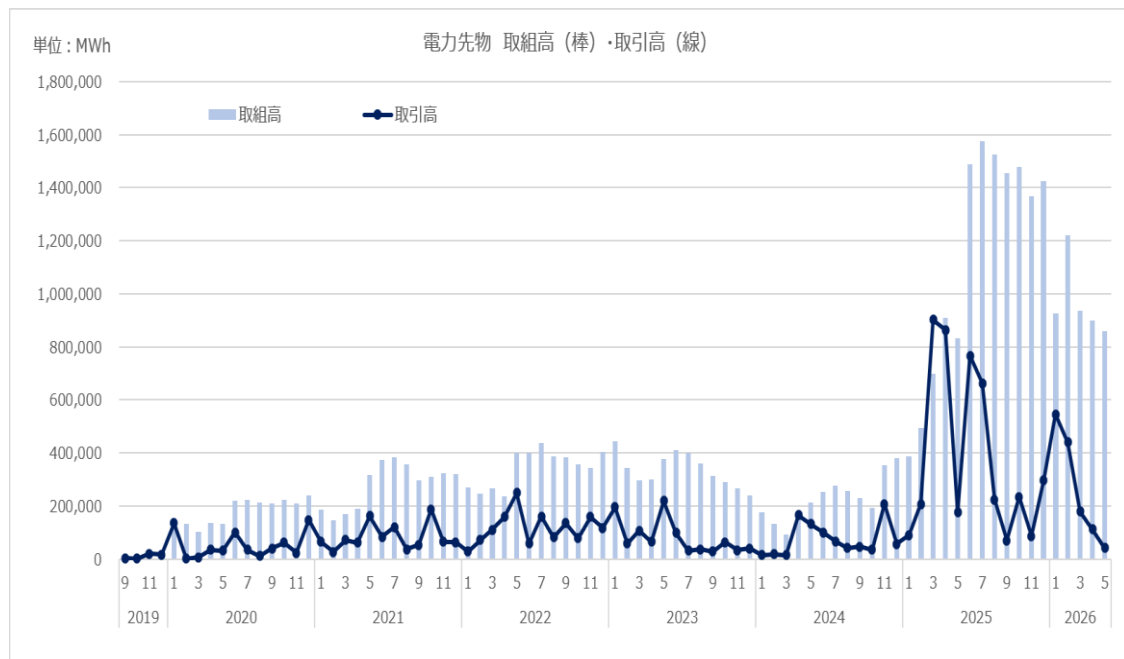
限月	区分	高値	安値	合計枚数
202607	立会外	27.35	27.35	30
全限月合計枚数				30

※高値および安値:円/kWh、合計枚数:1枚あたり100kWh、日中ロードは平日8~20時が対象

・26年5月限の新甫から納会までの値動き



・電力先物 取組高と取引高 26年5月まで



※26年4月分より中部エリア追加に伴い全商品合計のグラフに変更